

## 令和2年度 第1回宇和島市総合教育会議会議録

- 1 開催日時 令和2年12月24日(木) 15:00~16:22
- 2 開催場所 宇和島市役所 A棟会議室
- 3 出席者 宇和島市長 岡原 文彰  
教育長 金瀬 聡  
教育委員 高山 俊治 教育委員 木下 充卓 教育委員 弓削 由美子  
教育委員 浅井 敬司 教育委員 田村 裕子  
  
総務企画部長 西本 能尚  
教育委員会事務局  
教育部長 片山 治彦 教育総務課長 面川 啓之  
学校教育課長 西田 一洋 生涯学習課長 富田 満久  
文化・スポーツ課長 森田 浩二 人権啓発課長 山本 利彦  
学校給食センター所長 児玉 雅人  
教育総務課課長補佐 土居 弘 教育総務課総務係長 山口 真史  
教育総務課主事 新居田 智士

### 1. 開会

---

#### ○教育部長

ただいまから、令和2年度 第1回宇和島市総合教育会議を開会いたします。  
本日の進行を務めさせていただきます、教育部長の片山と申します。どうぞよろしくお願  
いいたします。  
それでは開会にあたりまして、岡原市長、ご挨拶をお願いいたします。

### 2. 市長あいさつ

---

#### ◎市長

総合教育会議にご参集くださいまして、まことにありがとうございました。  
早いもので令和2年、あっという間に時を重ねまして、本年も残すところあと1週間程度と  
なりました。これまでの間、それぞれの立場で様々なことがあったかと思いますが、何よりも、  
教育委員さんのお立場で、春先の、学校の休業であるとか、またその後の施設運営について、  
厳しい決断、また議論というものをしていかなければならないことがあったかと思  
います。  
また、我々も経験したことなかったところを、市長部局に対して様々なご指導をいた  
だいてきたところがございます。この場をお借りいたしまして、様々なそういったご指導  
いただいたことに対しまして、厚く厚く御礼を申し上げる次第でございます。本当に  
ありがとうございました。  
令和2年が終わりますけれども、合わせて現在では、令和3年度の予算編成の時期を  
迎えていることも事実でございます。教育委員会としてどのような取り組みをしてい  
くのか、まずは教育委員の皆様方に、様々なお考え、そして、そういった質問等々  
を今日はご披露させていただきたいと思っておりますし、そして教育振興基本計  
画というものも策定が迫っているところがございますので、また これらにつ  
きましてもそれぞれの立場で忌憚ないご意見をいただいたらと思うところ  
でございます。  
総合教育会議は、私市長が、いろいろなお話を教育委員の皆様方とできる、本  
当素晴らしい会議だと思っておりますので、限られた時間でございますが、様  
々な意見交換、思いを交錯させながら、充実した時間を過ごすことができたら  
と思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○教育部長

はい。ありがとうございました。

それでは続きまして金瀬教育長よりお言葉を頂戴いたしたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

### 3. 教育長あいさつ

---

○教育長

改めましてこんにちは。

今ほど市長からもお話がありましたとおり、今日の総合教育会議では、協議事項としては大きく二つございます。

一つは、教育委員会としての、来年度、令和3年度の主要事業についてであります。

そしてもう一つは、宇和島市教育振興基本計画、これは、本来は年度初めからという作業に着手する予定だったものが、コロナ等々諸事情ありまして、少し伸びてるといふものですが、宇和島市としては、これまでなかった初めての教育振興のための基本計画ということになります。中身的には、教育の中身が中心になろうとは思ひますけれども、地域の様々な機関や団体等が、ネットワークを図りながら、学校、家庭、そして地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく、そういった中で、子ども、大人もともに学び合い、育ち合うような、そういう仕組みづくりをしていきたいと、そういうねらいを持った、計画になろうかと思ひます。キーワードとして言えば、オール宇和島での『共に育つ』という、教えて育てるではなくて『共に育つ』という意味の『共育』ということになろうかと思ひますけれども、そういった中身についても、今後策定の作業を進めていくことということで、認識を共有する場になればいいなというふうにお願ひしております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

○教育部長

ありがとうございました。

それではここからは、宇和島市総合教育会議運営要綱第5条の規定によりまして、進行を岡原市長にお願ひいたしたいと存じます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

### 4. 協議事項

---

○市長

それでは、進行役を仰せつかりました岡原でございます。

スムーズな進行に心がけていきたいと思ひますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

早速、協議事項の(1)令和3年度教育委員会各課主要事業について、事務局の説明を求めます。

○教育総務課長

教育総務課西川でございます。資料の1ページをご覧くださいと思ひます。

令和3年度教育委員会各課主要事業でございます。

この一覧に関しましては、来年度の主要な事業を課別に、その概要をお示ししたものでございます。

現状では、先ほどのご挨拶の中でもありましたが、現在査定が完了していないということから、金額に関しましては、お示しできない状況となっております。また、内容によりましては、様々な制約もしくは協議の過程で変更と、そういった場合も十分ありますので、確定的なもの

ではございませんが、その旨ご了承いただきたいと考えております。

それでは早速、教育総務課分といたしましては、1ページに3件、お示ししてございます。

まず上段の小学校のトイレ改修でございます。こちらに関しましては、来年度、明倫、住吉小学校のトイレに関しまして、洋式化をする計画としているものでございます。また、令和4年度以降に関しましては、お示ししております6校につきまして、順次、計画的に進めて参りたいというふうに考えております。

中段でございます。こちらは、小中学校のICT環境整備事業でございます。GIGAスクール構想でも、いずれ必要となる学校内のインターネットの高速化でございます。このインターネットの速度を早めるため、学校内の設備改修とインターネットの出口、現在、出口は愛媛県教育委員会の方から出ているという状況でございますが、市役所の5階の部分から直接、インターネット回線を出す、そのような変更をする事業でございます。こちらを来年度、進めたいと考えております。

下段でございます。こちらはコロナ対策の臨時通学バスの経費でございます。今年度におきましては、5月の臨時の予算として、9月分までを一旦予算計上をしております。そのあと、9月補正で今年度末までの予算を計上しまして、現在も運行を継続しているところでございます。当初予算に計上するかどうか、課内でも議論があったのですが、現状の第三波という部分を踏まえますと、一旦計上して、状況を見ないといけなという考えで現在はおりますので、予算上としては、一旦年間分を計上しているというような状況ですが、今後の国内の感染状況等によりまして、どのような扱いになるか、不透明な部分がございます。

以上、3件でございます。

#### ◎市長

続いて学校教育課長をお願いします。

#### ○学校教育課長

2ページをご覧ください。学校教育課です。

同じように、予算査定中ですのでそれについては、確たるものは申し上げることはできませんが、ご説明をさせていただきます。

まず、教育支援員配置事業です。これはご存知のように、特に発達段階において、様々な課題を抱えている児童生徒について、心身面或いは身体面でサポートするというところで、ここ数年事業を多く認められ、拡大してきているものです。令和2年度の実績としては、10万時間を超える時間数を認めていただいております。令和3年度も配備計画は、学校希望としては、13万時間程度あるんですけども、これを精査しながら、この後配置を進めていきたいと考えております。現状及び問題点ですけども、この発達障害ということにつきましては、かなりの件数が多く挙げられてきて、そのことについて、社会的な理解や保護者の理解も深まりつつあるというふうに理解はしておりますが、やはり学校現場で、この子たちをより豊かに育てていくということにつきまして、より一層浸透を図っていきたいというふうに考えております。これが教育支援員の配置事業です。

もう1点、スクールサポートのスタッフ配置事業というのがあります。県の補助を受けておりますが、こちらは子どもたちを豊かに育てるためには、先生方をできるだけ子どもたちの方に向かせる、そのためには、教育と直接関わりのない事業については、それ以外のスタッフの協力を得て行うというものです。これについては、資料にありますように、教員本来の仕事以外のもの、例えば各種調査とか、給食費の徴収などについて、このスタッフに助けていただくというような形をとっております。

このスタッフの配置事業含めて、2点、マンパワーを学校の方により投入して、子どもたちの育ちを支援していくという形をとらせていただこうというふうに考えております。

以上です。

#### ◎市長

続いて人権啓発課長、お願いします。

○人権啓発課長

人権啓発課の山本です。

それでは人権啓発課分の主要事業について説明させていただきます。

資料2ページの下の方ご覧ください。今年度から3ヵ年、文部科学省の地域指定を受け、三間地域で、学校・家庭・地域が一体となった人権教育の先進的な取り組みを行い、成果や課題を普及啓発する人権教育総合推進事業に取り組んでおります。来年度は、児童生徒が地域に出て課題を発見し、それを社会教育・地域と連携して研究実践に取り組むとともに、既存事業の充実、バージョンアップを図り、2年後、最終年の人権教育推進事業の発表会につなげたいと考えております。

説明は以上でございます。

◎市長

続いて、生涯学習課長、お願いします。

○生涯学習課長

生涯学習課です。3ページをお開きください。

まず、中央公民館の青少年市民協働センター事業、通称ホリバタ事業と呼んでおりますが、これを進めていきたいと考えております。まず1年目、今年度に於きましては、中高生に来てもらう、立ち寄ってもらう、使ってもらうことを目的に活動を開始し、このコロナ禍の中、立ち寄れる場所、集える場所としての居場所づくりが徐々にできつつあるというふうに感じております。2年目にあたります令和3年度は、青少年と地域が繋がるということを目指しまして、青少年が自らが参画したくなる企画や、その活動へいざなう工夫を行いまして、最終的に関係人口を増やす活動につなげていきたいというふうに考えております。

2番目の図書館事業につきましては、電子図書館システムを導入したいと考えております。この電子図書館システムというのは、パソコンやスマートフォン、タブレットがあれば、インターネット環境を利用して、いつでもどこでも、図書館の利用登録さえあれば、端末で本を借り、読むことができるというサービスです。図書館に来なくても読めることから、このコロナ禍においても、利用が促進するものと考えておまして、すでに導入している自治体では、今年度3倍から5倍に利用が増えたという実績を聞いております。また、障害者に対する音声読み上げや文字拡大など、読書バリアフリーにも対応しておりますので、図書館サービスとしても十分利用が、拡充していくものと考えております。

最後に公民館の整備につきましては、今年度進めております住吉公民館の改築事業に加えまして、来年度は、平成30年の豪雨災害で延期しておりました石応公民館の改築事業を再開したいと考えております。

以上です。

◎市長

続きまして、文化・スポーツ課長、お願いします。

○文化・スポーツ課長

文化・スポーツ課です。

文化振興、文化財保護等は宇和島城、吉田のおねり、岩松の町並み等々ございますが、一番大きなものとしたしましては、伊達博物館の改築事業と考えております。11月に、今年度策定予定の基本計画案の説明会を行い、今、いただいた意見等の取りまとめをしているところです。来年度につきましては、先日もご案内しましたが、この設計の方に具体的に入る段階になってきているかと思っております。基本設計及び展示設計の業務委託等が、来年度から入って参ります。

文化庁等々の協議も回数を重ねることになるかと思いますし、これは先ほども言われたように、査定中ですので希望としてですが、その周知のための看板設置などをしていきたいと考えております。

もう一つ、スポーツ振興の方ですが、丸山の陸上競技場の三種公認のための改修工事や、スポーツ合宿、トップアスリート等の育成事業などと各種大会の運営等々ございますが、来年からの大きなものは、インターハイ、2022年の全国高等学校総合体育大会です。卓球競技を宇和島で実施するということが先日より決まっておりますので、令和4年度の開催に向けての準備

期間であるというふうに考えております。年度当初に県の実行委員会を受けて、実施市町でも、実行委員会等を結成しており、専属の人員等も含めました強化を図りながらも、宇和島でやるようになったら総合体育館しかないのかなというふうに思いますが、まだ決定はしてないのですが、対応を図っていきたいと考えております。

以上です。

◎市長

引き続き、学校給食センター所長、お願いします。

○学校給食センター所長

学校給食センター、児玉です。

学校給食センターにおきましては、学校給食総務費の中の学校給食費負担軽減事業につきまして、市長が12月議会でも表明された通り、コロナ感染拡大の影響による経済の低迷という社会情勢の変化が生じたことで、宇和島市の子育て中の各家庭にもその経済的影響が及んでいることにより、令和3年度も学校給食費負担軽減補助事業を継続することになりました。事業の中身につきましては、生活保護・就学援助以外の、宇和島市在住の児童生徒に対しまして、1食100円を補助するものでございます。

以上です。

◎市長

説明が終わりました。

今ほど各課から、令和3年度の主要な事業について概略の説明がございました。これらについてご意見ご質問等ございましたら挙手の上、ご発言願います。

なお、主要な事業でございましたので、「あの事業はどうなったんだ」とかということがあれば、またそれをご指摘いただいたら、可能な範囲、資料を全部持ち合わせてるかどうかわかりませんけれども、可能な範囲でお答えできたらと思います。

それと、私からまず1点、先ほどの学校給食センターの件を、私の言葉でお話をさせていただいたらと思います。

今年の確か1月に教育委員の皆様方、市長室にご参集をいただきまして、来年度、令和3年度から、医療の小中学生の無償化をしたいというところでの、財源ということで、一つの案として、お話をさせていただきました。後の3月議会におきましては、これまで説明をさせていただいた議員の皆様方、やはり様々なご意見等々ございまして、3月の10日ぐらいの一般質問では、それに関する質問等がありまして、反対を言われる方、中には「いいのではないかと」ご理解を示される方もいらっしゃいますけど、一方その時にはもうコロナで、学校は休業していたところでもございましたので、私としても、なかなかのタイミングで、これは難しいかなという思いは個人的にはしておりました。その後、4月、5月と時を重ねていく中で、また、さらには市長部局の施策といたしまして、児童手当の上乗せであるとか、また、高校生や大学生に、やはり少しだけでもという気持ちをお送りしようという施策をしてきたところで、現在親御さんの皆様方の中には、まだ、仕事を無理やり休まなければいけないところで、収入が十分でないご家庭というものが継続しておりますし、また第三波という中で、これから、まだまだ状況が見えないところを、全体を総合的に考えた中で、やはり給食の100円補助というものは、これまで通り、今のところ維持しておく必要があるだろうというところで、先の議会ですういったお話をさせていただいたところでもございます。今後どうするかにつきましては、先ほど申し上げた通り、議会からもそういったご意見等々がありながら、現在、そういった判断をしているところでもございますので、議会との相談、その前段としてはやはり、教育委員さんとも改めて、今後1年2年3年続けるのか、しかるべき時に、一度やはり市の財政状況等々を見合わせながら、しかるべき判断というものをしていく、いつかは、どうするかを決着をつけなければいけないので、そういったところを踏まえて、今後ご指導いただいたらと思いますので、そういった点で今私の口からお話をさせていただきました。

これらも含めて、今申し上げた数々の、この案についてご意見をいただいたらと思います。よろしく願いいたします。

◎市長

高山委員、お願いします。

◎高山委員

小学校のトイレの改修の件についてですが、大便器については、すべて洗浄便座付きでしょうか。以前、国体のときに、体育館等のトイレを改修してほしいと、私の方から言ったんですけど、その時には洗浄便座を半分、清潔に座りたい人もあるので、和式も作りますということで、いま体育館は和式を残して、3分の2は洗浄便座付きになっておりますが、この小学校については、その洗浄便座が付くか、ただの洋式か、和式も綺麗に残すかというのが、わかれば教えてもらいたいと思います。

◎市長

教育総務課長、お願いします。

○教育総務課長

ただいまのご質問ですが、想定といたしましては、洗浄便座はついておりません。一時期、やはり今ほど言われたように、特に低学年のお子さんなんかだと、トイレ訓練であったりという意味で、和式をとというような考え方もございましたが、今回につきましては、一応、すべて洋式を設定しているところでございます。

◎市長

高山委員。

◎高山委員

すべて洋式で、すべて洗浄便座は無しということですね。

○教育総務課長

はい。

◎市長

よろしいでしょうか。他に何かございませんでしょうか。

浅井委員、お願いします。何でも結構です。

◎浅井委員

教育総務課から出ている、教育振興費の小中学校ICT環境整備事業についてなんですけれども、ハード面が年々充実していることは大変嬉しく思います。

ただ、入れた後のことなんですけれども、教員は朝から夜遅くまで大変激務で、なかなかこれに費やす時間もあまりありません。ICTに堪能な教員ばかりでもないので、例えば、設定についてとか、或いはその始まってからのいろんなサポートについても、充実させて欲しいなという希望をいたします。

◎市長

これについて、学校教育課長、補足いただけますか。

○学校教育課長

まず、ICTの支援員の方をつけさせていただいております。現在募集中で一応5人確保する予定です。加えて、宇和島にコンピューターに非常に堪能な教員OBもおりますので、今その方々が教育推進員として活躍をされております。そのような方々にも、指導時数をふやしていただいて、関わっていただくようお願いをしております。

◎市長

浅井委員よろしいでしょうか。

◎浅井委員

はい。

◎市長

教育総務課長、お願いいたします。

○教育総務課長

補足いたします。

今ほどのご心配、我々としても導入時期に検討した部分でございます。今学校の現場の方と、ワーキング部会を設置しております。その中で、実際導入すれば、我々でもそうなんですけど、やはり初期の慣れという部分が、やはり必要かと感じておまして、最初はなかなか難しい操作かもしれませんが、ある程度慣れてくると、今度は、こんなことができる、あんなことができるというような部分が見えてくるのかなと、そういった部分をワーキング部会で、ワン、ツー、スリーステップのような形でですね、検討策、解決策を今協議しているところでございます。

また、細かな設定に関しましては、MDMという機械のようなものを設定してるのですが、何かのソフトのバージョンが変わるといような形になると、一括して指令を送って5,106台の端末が、新しく更新されるというような、ざっくりとした説明なのですが、1台1台の端末をさわらずに、1ヶ所の教育委員会の端末から指令を送って、更新ができるというような、データ更新の持ち方で、データに関しては、クラウドに教育関係の分は持ちますので、そこを今後、1年、2年と経験が積み重なっていくと、そこがやがてビッグデータになりますので、その辺りを、いかに「宇和島の教育の弱い部分はどこだ、逆に強い部分はどこだ」といような部分をワーキング部会の方で、いろいろと検討して、子どもたちの進んでいく指針としたいというような考えも、将来的にはございます。

◎市長

よろしいでしょうか。他に何でも結構です。

弓削委員、お願いします。

◎弓削委員

スクールサポートスタッフを配置するというはとてもいいことだと思うんですけど、現在、2校においてすごく効果があらわれているということで、来年度からは、大規模校、中規模校に各1名配置を要望ということなんですけど、小規模校の学校で要望が出た場合は、配置はしてもらえないんでしょうか。

◎市長

学校教育課長、お願いします。

○学校教育課長

お答えします。

現在ご存知のように、明倫小学校と住吉小学校2校に配置しております。まず現状なんですけども、非常に効果的でありまして、国の方も、このスクールサポートスタッフの配置が教員の働き方改革に一番効果的であるというふうな判断もしているようです。

数字を具体的に挙げると、例えば、明倫小学校は、今年コロナの関係で、行事が秋に集中したために、10月に調査があったんですけども、時数的には、昨年度と比べて減じることはできなかったんですけども、昨年度と同じ以上、つまり修学旅行や大洲青少年交流の家をこなしてもなおかつ、昨年並みの時数であったということです。

なお、同時期の10月の住吉小学校は、昨年度は先生方の1週間の調査時数が55時間に対して、今年度は51時間になっております。平均的に、大体40分ほど早くなったのでしょうか、それほど改善が見られております。

先ほどの最後のご質問ですが、今まさに査定の途中でして、これらの必要時数について、関

係課と協議をしておりますので、具体的な数字は述べられないんですけども、できるだけ認めていただけるように、お話をしていきたいと思っております。

◎市長

はい。他に何か。

木下委員、お願いします。

◎木下委員

先ほどの学校の小中学校のICTの環境整備の話に戻るのですけれども、支援員の配置で、5名の方を、宇和島地区に2名、吉田、三間、津島に各1名ということなんですが、任用の期間が、令和3年の1月から3月ということで、実際に先生方が使い出す来年度に、4月からに向けての体制で任用期間が切れた場合、実際使うようになって、サポートの人がいないのはどうなのかという心配があるんですが、その辺のことはどうなっているのでしょうか。

◎市長

学校教育課長お願いします。

○学校教育課長

お答えしたいと思います。申し訳ありません、少し説明不足でした。

一応今回のことについては、12月の補正予算で、まさに今、学校にもものが入っていますので、そこから始まるということで、つけていただいた臨時の予算で、3月末までになっております。で、令和3年度につきましては、改めて、同じような体制でお願いをしたいということで今進めているところです。なお、少し付け加えると、実は業者の方も、一定は学校を回って、まず最初のイロハのイのところからについての説明はしていただくようになっておりますので、三重構造でこう、提案をしていくという形には現在のところなっております。

◎市長

いかがでしょうか。

◎木下委員

ありがとうございました。

ちょうどコロナを機会にということもないんですけども、こうやって端末が全校の児童生徒に渡るようになったので、もし、これから一斉休業とかがあった場合にうまく活用できるように、その辺のところを、本当にコロナがあって悪いことだけではなく、そういうふうリモートで授業なり、また保護者とのいろんな相談ができるように活用していただけたらと思っております。

以上です。

◎市長

ありがとうございました。

田村委員、いかがでしょうか。

◎田村委員

失礼します。

質問ではないんですが、自分の意見を述べさせていただけるとしましたら、教育指導費に関してなんですけど、私は宇和島市小中学校業務改善検討会に構成委員として参加させていただいてるんですが、先生方の業務が多忙化、多様化して、それから拡充して行って、本当に本来すべきことでもない業務までしないといけないような状況、先ほど学校教育課長も言われたようなことが起こっている中で、各校長、教頭、教務、そして事務室、それぞれの立場で本当に先生方が、業務改善に向けていろんな話し合いを進めているのを見まして、この宇和島市は、子どもの成長を喜びに思う先生方がすごく多いなと感じております。

そういった先生方が、本来の業務である子どもと向き合うとか、子どもの指導とか支援が十



分にできる時間を確保できるように、やはり人材というものを増やしていただけたらと思います。

あと各学校が、実情に応じた人材を採用できるように、これからも取り組んでいただけたらと思います。

◎市長

これについて、どうでしょうか。教育部長、何か一言ありますか。

○教育部長

失礼いたします。本当にありがたいお言葉だなと思って聞いておりました。

我々といたしましても、すべての分野、教育と一口に申し上げましても、ハード面、ソフト面、スタッフ、それぞれに努めていかなければならない分野が幅広くありまして、一足飛びには、なかなか整備ができない、そういった中で少しでも効果的にと、取り組んでいるところでもございます。

そういった中でも、田村委員をはじめ、教育委員の皆様ご理解をいただいて、ありがたいことだと思って過ごして参りました。

今後につきましても、可能な限り、これは先ほどから繰り返し申し上げておりますように、予算というものは我々が望んだからすべてというわけにも参りませんので、財政部局とも協議を重ねながらですね、理解を深めていただいて、可能な限り、良い環境を作って参りたいと考えているところでございます。以上です。

◎市長

ほかに、高山委員、どうぞ。

◎高山委員

文化・スポーツ課のインターハイの事業についてお聞きしたいんですけど、市の実行委員会設立とありますが、今のところ、そのメンバー的なもので、高体連を入れるとか、卓球協会とか、県卓球協会とかいう具体的な案が出ているのがあればということと、11月に県卓球協会の会長と理事長と話した時に、令和5年のねんりんピックについては愛媛県と話をしていますが、インターハイについては高体連とはまだ何も話してないということで、なかなか事業的に遅れているという印象を受けました。

できるだけ、早め早めにしてもらいたいと思いますので、今の現状を教えてもらえたらと思います。

◎市長

それでは、文化・スポーツ課長お願いします。

○文化・スポーツ課長

基本的に、まだメンバー等は決まっておられませんし、基本、愛媛県の方が実行委員会をまず先に立ち上げて、そのメンバーに応じた形のメンバーになるのかなと思います。

愛媛県の方は、おそらく県知事ではなく教育長がトップになるのではないかという情報も聞いておりますので、当然、実施市町も教育長がトップになってというような形になるかと思っております。

今後、今言われた関係団体の方とはご相談しながら、何人メンバーに入っていただくかというようなことも含めて、5月、6月ぐらいには、立ち上げていかななくてはいけないと思っております。

インターハイに関しましては、市町の事業というよりは、高体連の方がかなり主導して、市町はそのサポートをするというイメージですので、卓球協会の方からすれば遅れているというイメージがあるかと思っておりますけども、そこは、高体連の専門部会等できっちりやっているというような認識をいただけたらと思いますし、当然、ご相談するところは、来年以降を相談させていただこうと思っております。

今年は、インターハイがなくてですね、通例であれば、前の前の年から、徐々に準備をして

いくんですけども、来年一気に準備しなくてはいけないというようなこともあって、多少そこは、焦りもあろうかと思えますけども、遅れているという感じではないということは、ご理解いただけたらと思います。

#### ◎市長

国体のときに、いろいろ準備をしてきたところから比べると、多分それが印象として、今のペースでは厳しいんじゃないかと思われるかと思えますけれど、文化・スポーツ課長が言われたように、市としても、ここでやると決めた以上は、しっかり高体連に合わせて努力はしていきたいと思えますので、またそれらは、その都度話があるかと思えます。それを報告させていただきます。

私達も全力で応援していきたいと思えますし、合わせて言うのであれば、今卓球が、本当ニュースでもよく報道されるようなスポーツになったんだなっていうところを実感しますし、ちょっと私の力不足で、先日いろいろご迷惑をおかけしましたクライミングホールにつきましてですね、やはりそういった選手が今、秋の大会で四国の賞を総なめするぐらい、伸びつつあるところですので、やはり、子どもたちの夢を叶える町ということで、またそういった指導者の方々のお力添えを得たいと思えますので、まだ1年半、もうあつという間だと思えますけれども、またご尽力いただけたらと思えます。ありがとうございます。

ほかに何かございますでしょうか。

私からと言いますか、いずれにしても教育委員会は、やはり子どもたちのために何ができるかということを常に考えている。それは、背景として教育委員の皆様方が、やはり熱心に、子どもたち、そして先生たちの環境をどのように整えるのかというお考えがあるからこそ、予算としては要求いただいております。予算ばかりを言うと、すごく聞き苦しいかもしれませんが、全体のバランスというのはもちろんあることですので、すごく熱い思い、それはしっかり予算要求額で反映させていただいておりますので、今後その中で、しっかりどこまでできるかというのは、慎重に検討していきたいと思えますので、今の段階では、今いただいたご意見をですね、しっかり踏まえながら、具現化できるものはしっかりやっていく、そういった気持ちでございますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### ◎市長

続いて協議事項2番目でございます。宇和島市教育振興基本計画の策定について、まずは、事務局の説明を求めます。教育総務課長。

#### ○教育総務課長

それでは、5ページの方をお開きいただけたらと思えます。

宇和島市教育振興基本計画の策定についてでございます。本年度の当初予算で措置されておりましたが、コロナ対応等でここまで延びてしまったということは誠に申し訳なく思っております。

それでは、策定につきまして5ページのところで、計画の概要といたしましては1番のところに書いてありますが、教育振興基本計画というのは、法的に言いますと、教育基本法の第17条の第2項によりまして、教育大綱を作りました時に、国の教育振興基本計画がありますが、それを参酌しながら、地域の実情に応じた教育の振興に関する基本的な計画、こちらを定めるように求められております。教育環境を取り巻く内外の動向に的確に対応するために、本市の教育振興のための施策に関する基本計画を策定するものという位置付けでございます。

また、今回教育大綱を施策として展開する上では、一体的な施策展開というふうにも考えていることから、生涯学習推進計画、文化芸術振興計画、スポーツ推進計画を包括するものという位置付けでございます。

2番を見ていただけたらと思えます。現状及び問題点として、というところでございますが、もともとこの計画がなかった今まではというと、市の教育委員会で、教育委員会の基本方針というものを毎年見直しながら、教育行政を推進していくスタイルというようなやり方で事業を展開して参りました。これまでは、将来を見据えた教育目標をより明確にして推進し、中長期的にどういった計画にするのかというような中長期の方針がございました。しかし、本年度の予算措置をさせていただいて、教育振興基本計画を策定することで、着実な推進という部

分、チェックもプランも、ともにできる計画を今後策定して参りたいと思っております。

(3) の計画の位置付けでございます。市の総合計画は当然上位でございますが、先ほど来の教育大綱をより具現化できるものとした、具体的な計画という位置付けを持っておりまして、生涯学習推進計画、文化芸術振興計画、スポーツ推進計画などを包括したものとしまして、イメージといたしましては、6 ページをご覧いただいたらと思うのですが、6 ページのようなイメージになろうかと考えております。

それでは、7 ページの方をご覧いただいたらと思います。本計画の策定は、どのようにするかということでございますが、スケジュールといたしまして、委託を想定しております。

括弧の 0 のところ見ていただいたらと思うのですが、今のところ予定では 2 月の前半に業者選定、契約を目指しております。その後、教育委員会では策定委員会を設置したいと考えております。その策定委員会に教育委員会が諮問し、策定委員会の方から答申という形で、計画策定をしようと考えております。

策定に当たりましては、様々な教育関係の方々とか各種団体の方々に、策定委員としてご議論いただきながら、(3) のところを見ていただいたらと思うんですが、市民アンケート、また学校へのアンケートを実施する予定としております。様々な教育ニーズ、現状の分析という部分を、そういったアンケート等で集約いたしまして、宇和島市独自の方向性という、そのようなものを計画に反映したいと考えております。

また、(8) 番のところを見ていただいたらと思うのですが、(8) では策定委員会につきまして年度内に 1 回目を開催いたしまして、来年度は約 6 回の開催を計画し、その進捗につきましては、教育委員の皆様方に随時ご報告して、また、随時ご意見を伺いながら、進めて参りたいと考えております。

概略の手順としては以上でございます。

◎市長

金瀬教育長お願いします。

◎教育長

今ほどの教育総務課長の説明に、若干の補足をさせていただきたいと思っております。

本年の 3 月の総合教育会議で、平成 27 年に策定された宇和島市教育大綱の計画期間の終了に伴い、教育大綱の見直しを行いました。

しかしながら、4 月に入って緊急事態宣言により学校が一斉休業になるなど、大変大きな情勢の変化があり、その対応に追われることになりました。そうした中で新しい生活様式を踏まえた、3 密回避を初めとしたソフト面、ハード面での感染防止の対策や、1 人 1 台の ICT 端末について、ステイホームの時の使用も含めた今後の効果的な活用策の策定、そしてその推進と、3 月の時点では想定していなかったような大きな課題も出てきていることから、現在そうした点をどのように教育大綱に加味するのか、この検討中でございます。

教育振興基本計画は、1 人 1 人の豊かな人生と、持続可能な地域づくりのために、市長部局と教育委員会が連携をし、そしてまた地域とも協働して取り組んでいくことも含めたものとなりますが、いずれにいたしましても、教育大綱の方向性を具体化するものでありますので、今申し上げました大綱のさらなる見直しについては、2 月には成案を得たいと考えております。

そのスケジュール等詳細については、改めて追ってお知らせしたいと存じます。

◎市長

今ほど、事務局から説明と、そして教育長からの補足がございました。この件につきまして、何かご質問、ご意見等ありましたら、お願いいたします。

浅井委員、よろしく申し上げます。

◎浅井委員

7 ページのスケジュール表の中に、(0) 業者選定というのがあると思うんですが、この業者というのは、どのようなものですか。全くイメージがわいてないので。

◎市長

教育総務課長、お願いします。

○教育総務課長

言葉足らずのところがあって、申し訳ございません。

今回、計画策定をする上で、こういった大綱であったり、教育振興基本計画を作成した実績がある業者にアドバイスを受けながら、策定の委員会を進めて参りたいという考えで、昨年、本年度の当初予算で予算計上させていただきました。

実際、どういう業者が該当になるかわかりませんが、専門的な知識を持った業者を選定して、アドバイスを受けながら、こちらで選定した委員さんで、このようなことにした方がいいんじゃないかというような議論を行い、策定案をどんどん積み重ねていくというようなイメージでございます。

◎市長

浅井委員、いかがでしょうか。

◎浅井委員

大筋はわかったんですが、具体的に、例えばどういう業者になるのでしょうか。

◎教育長

教育振興基本計画の策定の方向づけであったり、こういった組み立てにしていくとか、そういうような中身、或いはその方向性は策定委員会の方で議論します。それを計画として、書き物として作り上げていく上で、いろんなアンケートを集計したりする作業であったり、いろんな基礎資料や統計データなどを集めてきたり、先進地の事例を集めて紹介してもらったり、そういった計画を作り上げていく上での作業であったり、或いはそういうことに携わった実績の中から、参考になるような情報などをいただいたり、そういった知見を持ち合わせたような、ここで具体的なその候補者の名前を申し上げるのは控えておきますが、そういった業者にサポートしてもらおうという考え方です。

◎市長

浅井委員、いかがでしょう。よろしいでしょうか。

◎浅井委員

はい。

◎市長

他に何か、ちょっとした疑問でも結構です。

田村委員よろしくお願いします。

◎田村委員

策定委員会の策定委員というのは、具体的にどのような方がなるのでしょうか。

◎市長

教育長、お願いします。

◎教育長

今のところ、学識経験者として、できたら大学の先生になっていただきたいと考えているところですが、そういった学識経験者の方、それから地域を代表するような団体の方、産業界であったり、社会教育関係の団体といったような方々で構成するような委員会で、もちろん小中学校の先生、幼稚園の先生にも入っていただいて、幼児教育、学校教育、社会教育、そして、生涯学習といったような様々な団体知見を持った方々で、人数的には12~14名ぐらいだったでしょうか。

○教育部長

14、5名です。案の段階ですが。

◎教育長

そういった規模感でご就任いただいて、方向づけをしていただくという考え方です。

◎市長

よろしいでしょうか。

はい。他に何かございませんでしょうか。

これらについては、その協議されてるところを、実際共有とかも、教育委員には色々打ち合わせをしながらやっていくものなのですか。

○教育部長

もちろん、教育委員の皆様のご意見も大変重要なご意見だという認識をしておりますので、毎回というわけにはならないと思いますが、いわゆる折々に進捗状況をご報告差し上げて、また、それに対してご意見いただく場というのは、しっかり作って参りたいというふうに考えます。

◎市長

ありがとうございます。他に何かございませんでしょうか。

それではまた、こういった形でということが、今回の報告とその説明だと思imasので、またそれこそ折々に、何かございましたら教育委員会の方まで、ご質問いただいたらと思imasのでよろしくお願いいたします。

## 5. その他（意見交換）

---

◎市長

それでは3番目のその他（意見交換）に移りたいと思imas。

今まで令和3年度当初予算の案件、また教育振興計画基本計画の件をお話しましたが、何でも結構です。何かございましたら、ご発言いただけたらと思imas。

これもまだ時間ございますので、事務局で何か用意してるものがあれば、先に披露いただくことも一つの案だと思imas。

片山教育部長、お願います。

○教育部長

失礼いたします。

資料の方を8ページの方からお示しをしておりますけれども、今年は、とにもかくにもコロナに明け暮れた年であったということがございます。教育委員会の各課におきまして、本当にコロナ対応、いろんな場面で汗をかいて参ったところでございますが、少しですね、そういったコロナ禍における各課の所感ということで、資料を用意してございますので、ご一読をいただけたらと思imas。

どうぞよろしくお願いいたします。

◎市長

今事務局が用意してるものとして、8ページから10ページのものがあるかと思imasけど、これらを含めて何かございましたら、何でも結構です。ご意見をいただけたらと思imas。

金瀬教育長。

◎教育長

先ほどご案内いたしました教育振興基本計画、その上に位置する教育大綱、そういったもの

をセットしていく作業がこれから始まります。

そうした中で、これは再々申し上げているのですが、やっと、この4月に市内の小中学校全校がコミュニティ・スクールになり、そして各校区ごとに地域コーディネーターが配置され、地域と学校が一体となって協働しつつ、これから先の地域社会の創り手を育てていくという、そういう体制ができ上がりました。

そういった状況になっていきますということ、そして、地域と学校が一緒になって、そして社会教育も含めて、オール宇和島での共育に取り組んでいきたいと思いますということについては、これからの教育委員会としても、いろんな発信の仕方を工夫していかなければいけないというふうにも思っていますが、各地域だったり、団体だったり、ある種代表する形で来ていただいている委員の皆様にも、その辺りをご認識いただいて、機会がありましたら、地域が一体となって、持続可能な地域、そして豊かな人生を送れるようなそういう人づくりに取り組んで参りましょうというお声掛けをしていただけたらと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

◎市長

はい。今の教育長のご意見も含めて、何か所感があれば。  
木下委員、お願いいたします。

◎木下委員

ちょうど今、コミュニティ・スクールのことが出てきたんですけれども、実は、これ市長にも知っていただきたいんですけれども、宇和島市のコミュニティ・スクールを立ち上げる時に、それぞれの教育委員の地元の小学校区及び中学校区の運営協議会の委員に、教育委員もなって欲しいという、名簿が上がっていたんですけれども、その運営協議会の委員を決めるのは、我々教育委員であるので、自分達のことを自分達で決めるのはいかなものかということで、その運営協議会の委員には、今のところ、この教育委員はメンバーに入っておりません。

一番大事な、地域と学校とが結びつくところなので、そこへメンバーとして入っておくと、いろんな議論に接することができ、現場がどういう動きをしているかよくわかるんですけれども、今は手続き上のことで、それができないので、何らかの方法で、地元の学校とかに、委員が積極的に運営協議会へ入って、地域の声なり、学校の声、保護者の声を聞けるようにしていただけたら、本当に現場の声が委員にも伝わってくると思いますので、何とかその辺のところを、手続き上うまくやって欲しいと思っております。

◎市長

この点につきまして、何かしら、打ち返しできることを教育部長。

○教育部長

失礼いたします。

本当におっしゃる通りで、多分「委員として入っていただくばかりが、すべてではない」というところで、今止まってしまってるのかなというふうに思いながらお聞きしておりました。

もちろん壮大なテーマといいましょうか、スローガンとしては立派なものだけれども、やはり、今後教育委員会として取り組まなければならないのは、その実態のところ重要なだろう、より具体的に、そのためにこういうことをしていきますというところに取り組んでいかなければならないのだろうというふうに、この9ヶ月で思っているところでございまして、今ほどご指摘ありました、教育委員の皆様がどういう形で携わっていただけるかにつきましても、大事な課題をいただいたと思いますので、少しお時間いただいて、検討させていただけたらと思います。以上です。

◎市長

木下委員、よろしいでしょうか。

◎木下委員

こういうことを申し上げたのも、実は、吉田中学校が、市の方から認められる前に先駆けて、

吉田中学校型ということで独自にやってる時に、私はずっとその運営協議会に参加させていただきまして、その2年間、非常に子どもたちや学校の動きがよくわかったので、ぜひそういうことは、現場の声として、教育委員会の委員の皆さんに体感していただきたいし、当初、皆それぞれの委員が地元の学校の委員として名前が挙がっていたものですから、その辺のところを強く思っているところです。

ぜひ、その辺のところ前向きに考えて、よろしく願いいたします。

◎市長

了解ということでよろしいでしょうか。

○教育部長

はい。

◎市長

田村委員。

◎田村委員

失礼します。今年はやっぱりこのコロナ禍で、学校訪問などができなかったのですが、唯一私が保護者ということで、学校に行く機会がありましたので、そこで見た様子をお伝えしたらと思うのですが、このコロナ禍でありながら、学校ではしっかり人権教育がされていると感じました。

というのも、先日人権集会を参観させてもらったのですが、そこで議論していたのが、子どもたちが、もし友達が新型コロナウイルスに感染してしまったらどうしますか、という疑問に対して、全校生徒がすごく真剣にそのことを考えて、自分の意見を堂々とみんなの前で発表する姿を見て、本当に私たち大人が見習わなければならないなど、強く感じました。

この局面を、子どもたちがいろんな工夫とか努力によって乗り越えていこうとしている姿を見て、何か本当に、差別とかいじめとか、そういうことはしてはいけないという意味を、強く自分が示す、そして相手を思いやるというような心を持てるような時間を家庭でも作りたと思いますし、その頑張っている子どもたちのために、やはり教育委員会、そして学校、そして地域が連携を強めなければならないと感じたのがこの1年間でした。

◎市長

これに対して、学校教育課長、人権啓発課長、何かコメントがありましたら、学校教育課長、お願いします。

○学校教育課長

本当に今のお言葉聞くだけで、私もかつて、その学校に勤めていただいただけに、非常にありがたいなど、先生方にもう拍手を送りたいなという気持ちでいっぱいです。

小学校、中学校に限らず、本当にほとんどの先生も子どもたちも、そのつもりで前向きに進みながらも、やはりどこかで悩みを抱えながら、その悩みをまたみんなで支え合いながらというのが現状だと思います。

コロナ禍のところ、私も所感を書いたんですけども、やはりその中で見える姿というのは、ものすごく現実的には厳しいんですけども、そこで子どもたちが、精一杯自分たちのいいところを発揮したいというのは、例えば、部活動でもそうですし、いろいろな文化活動や体育活動でもそうですし、小学校では、運動会が半日で終わってしまったんですけども、その中でやはり、あまり良くない言い方かもしれませんが、燃え尽きるような活動を先生がきちんと仕組みを作っていくって、うまくいっているなというのがあります。

中には、行事によっては、少し遠慮したりした部分があったかもしれませんが、それもやがて、その次のステージになってくると、可能になってくる部分があると思いますし、そういうところ模索しながら進んでいきたいと思います。

本当に応援のお言葉ありがたいと思いました。ありがとうございました。

◎市長

人権啓発課長、よろしいですか。

○人権啓発課長

田村委員さんありがとうございました。大変心強く感じました。

この1年、学校が休業になったりして、やはり、その本来の教科や、何か学習が遅れているということで、人権教育がなかなかできにくいところがあって、学校によっては、ビデオメッセージを作っていたり、人権便りを出していただいたりしたところもあったのですが、本当に心強く思いました。

ただ、このコロナ禍の中で、人権については、コロナの感染拡大、また誹謗中傷とかの話を通じて、やはり人権については深く考えることができたということなのか、深めるよい機会になったのではないかと考えております。

その人権作品集を毎年出すんですが、今年は15集という、そういう視点で見ると、やはりこのコロナ禍の中で、子どもたちの人権意識も深まっているのではないかと感じているところでございます。

ありがとうございました。

◎市長

はい。ありがとうございます。

弓削委員から挙手がありました、どうぞ。

◎弓削委員

コロナの話なんですけど、先月でしたか、何人かの校長先生とお話させていただいたときに、コロナについて、特別な話し合いはしてないと言われてた学校もあったんです。

ですから、もう一度、田村委員の子どもさんが行かれている学校を見習って、徹底して、みんな各自学校で、もう一度こういう話をしてもいいような状況だと思うので、絶対にコロナでいじめとか、そういうことがないようにやっていただきたらと思います。

よろしくをお願いします。

◎市長

学校教育課長。

○学校教育課長

やはり我々も、全体見ている中での見逃しがちなところは当然あるのかなというふうに思っていて、今反省はしているところなんですけれども、多かれ少なかれ、各学校、本当に温度差はありながらも、真剣に取り組んでいるんだけど、実は通常の活動を続けることが、子どもたちのためにいい場合もありますし、そういうものも含めて、やはり取捨選択をしているのかなというふうに思いますが、本当しっかりとその辺りが手綱を締めながら、見守っていきたいと思っております。

ありがとうございます。

◎市長

高山委員、お願いします。

◎高山委員

給食関係なんですけど、学校給食センターの所長が、今年はコロナの不幸中の幸いで養殖マダイを頻繁に給食に出せたと言われてるんですけど、宇和島では、マダイだけではなく、ブリとか、今、養殖のスマとかマグロとか、カキとか、美味しいものいっぱいありますが、マダイ以外にも出す予定は、どうなってますか。

◎市長

学校給食センター所長、よろしいでしょうか。



○学校給食センター所長

水産課を通して、マダイ以外にも、宇和島の特産の水産物で適当なものはありませんかというふうに協議をいたしまして、マダイ以外にも、特にブリが適当ではないかというふうに水産課から教えていただきましたので、来年度予算の中でブリも取り入れて、魚食普及という観点で推進していきたいと考えております。

◎市長

高山委員。

◎高山委員

ぜひよろしくをお願いします。

◎市長

これは私から1点。今回コロナで、生産者のサポートをしていこうということで、多くの業界の方々、まず教育委員の皆様方のご理解も得ながら現場に、また医療機関に対しましても送ることができました。

来年についても、いろんな話をする中で、これは私も個人的には続けていきたいと思えますし、本当の意味での食育というものは、地域の素晴らしいものを、普通の給食代ではなかなか賄えないプラスアルファを、やはり、我々が未来の主役である子どもたちに提供していくことだろうというところをごさいますて、これまでできていたかという、やはりまだまだであったことは間違いないところですので、先ほど所長が言われた、今タイとブリを検討されてることですので、私もバックアップしていきたいと思えますし、またあわせて、地域のものをいかに使えるかという、食育というところにも、やはりコロナでこういうことが、花、実がついたところをごさいますけれども、引き続き意識をしていきたいと思えます。

浅井委員、どうぞ。

◎浅井委員

お礼と感想で、2点。

1点目が、先ほどお話したらよかったんですけれども、今年中に、タブレットが全児童生徒に行き渡るということは、大変素晴らしいことじゃないかなと思います。全国でも、なかなかまだ行き渡ってない県や市町もあるんですけれども、宇和島では本当に今年中にこう行き渡っていくことは、ご努力の成果じゃないかなと思います。先ほど述べたらよかったんですが、ありがとうございました。

あともう1つ、感想なんですけど、今年コロナで、学校現場、それから生涯学習も含めて、いろんな行事がことごとく中止になって大変残念なんですけれども、反面、行事を見直す良い機会にもなったんじゃないかなと思ってます。例えば運動会にしても、今までは夕方まで開催していたものが、半日開催がほとんどだったんですけれども、学校現場では「これもありかなと、コロナに関係なく、こういうスマートにできるのもありかな」で、他にも「考えてみたらこんな行事、学校では必要なかったかな」というのもあるんじゃないかと思えます。コロナで本当に残念で大変だったんですけれども、行事を見直す良い機会にもなったので、断捨離ではないんですけれども、働き方改革にも繋がると思うので、行事の見直しにも繋がったら、教育委員会の行事もそうなんですけれども、そういうことも、コロナをプラス面に利用するというか、そういう考え方もありかなと思った1年でした。

以上です。

◎市長

何か打ち返しがあれば、今のは、もうご意見として承ってということではよろしいでしょうか。では、学校教育課長、お願いします。

○学校教育課長

本当にその通りだと思っております。

学校では、先ほど教育委員の皆様が、学校に行きたいのという話も伺いながら、申し訳ないことしたなと思うんですけども、それはそれで、また落ち着いてきたらできることと思うのですが、実際、運動会のこと、それから修学旅行のこと、遠足とか、いろんなことも含めて、或いは職員の研修も含めて、落ち着いて、改めて見直してみるとという部分はたくさんありますので、それをぜひこの機会に生かしていきたいと思います。

また、学校の方でも、学校評価の方で反映していただくと、また学校も考える機会になるのかなと思います。

よろしくお願いします。

#### ◎市長

民間企業では、働き方の価値観が大いに変わったということで、東京の高額な家賃を払ってビルから、もう退去も始まっていると、つまりリモートでできる、こんなことできたんだということは、民間企業は取り入れも早いので、そういう価値観で動こうとされてるんだろうと、それで経費をなるべくかけないようにしようとしてるんだろうと思いますけれども、やはり、今の考え方に沿って、色々考えていくことは必要じゃないかなと私も個人的には思います。木下委員、お願いします。

#### ◎木下委員

残念ながら成人式が延期ということになりましたが、もうこれは本当に今のコロナの状況では致し方ないことだと思います。

延期ということで、コロナの状況次第とは思いますが、いつごろの開催を予定しているのかということをお聞かせいただきたいのと、実際、都会に出ている子の、東京とか大阪とかに出ている人たちの話を聞くと、やはり、実家におじいちゃんやおばあちゃんがいて、帰って来て欲しくないと言われたりとか、本人も心配して帰ってこれないという、本当に寂しい状況もあります。

その辺のところも、人権のことにもかかわってくるんですけども、本当に健康面を考えてのことで、寂しい思いをしている本当に子どもさんたちがいるので、何とか延期という形での開催をしてあげたいと思います。

その辺のお考えを、教えていただいたらと思います。

#### ◎市長

これは、生涯学習課長、よろしくお願いします。

#### ○生涯学習課長

失礼します。

成人式につきましては、本当に市長の思いも、最後まで何とか実施したいという思いで準備を進めてきたんですけども、12月8日に、当時の状況を鑑みて、苦渋の決断で延期ということを決定しまして、発表したところです。

その時点では、急遽のことでしたので、とりあえず時期未定、内容未定の延期ということで発表し、県内どこの市町もそれに呼応するように、20市町すべて中止・延期となりました。

その後、新成人当人であったり、また、保護者や着付け美容師、写真館等、関係業界からいろいろと、やはり準備の都合もあるので、時期だけでも示してもらえないかという要望が多々ありまして、年内に協議をしまして、先日ホームページの方で発表させていただきましたのが、「夏ごろを目途に延期します」というアナウンスでございました。

そして、状況によっては中止する場合がありますということを申し添えまして、要するにもう再延期はないということで、夏頃実施予定、もうそれ以降は再延期なしということを発表させていただいたところです。以上です。

#### ◎市長

よろしいでしょうか。他に何かございませんでしょうか。

逆に、事務局側で何かこれだけは、話を聞きたい等々ございましたら。

◎総合教育会議  
意見なし。

◎市長

それでは用意している協議事項についてはこれで終了といたします。

進行の方を事務局へお返しいたします。スムーズな進行、ご協力いただきまして本当にありがとうございました。

## 6. 閉会

---

○教育部長

岡原市長ありがとうございました。

それでは、大変闊達なご議論いただきまして、いろんなご意見聞かせていただきました。前向きに受けとめて、取り組ませていただきたいというふうに事務局としては考えております。

それでは、以上をもちまして令和2年度第1回宇和島市総合教育会議を閉会いたしたいと思います。

皆様、どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。